

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 憲章会	代表者	理事長 石島 衛	法人・ 事業所 の特徴	当法人は役員・職員の資質向上のための研修等の実施をしています。南城市からの委託事業「高齢者一時保護事業」「食の自立支援」「生活管理指導員派遣事業」や「夜間・休日相談事業」の受託をしています。小規模多機能事業所では、公文学習療法を導入し認知機能低下防止や個々のいきがづくりを支援しています。また、利用者自身の「～したい」想いを尊重し、地域のミニデイサービスとの交流や、生まれ育った地への訪問「ふるさと訪問」を年1回実施しています。
事業所名	東雲の丘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	管理者 平田 いづみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	人	10人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者さんや職員の生活の中で、きらきらした事、良い事探しの為「きらきらノート」を作成し、日々の生活意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きらきらノートや公文学習療法日報を記入する事で良い事探しを意識する事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>きらきらノートと公文日報との使い分けをスタッフで話し合ってもいいと思う（一本化した方が良いのか）</li> <li>きらきらノートを継続していくとの強い意志があり利用者様の良い事を見つけて貰いたい。</li> <li>広報誌にて「きらきらノート」内容報告がある為上手く活用できている事が分かる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「きらきらノート」の継続</li> <li>利用者目標「～したい」と掲示し達成できるよう支援していく</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内の整理整頓を行い、リスクの少ない環境を整える。</li> <li>家庭的な雰囲気づくりを行い居心地の良い空間をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス感染症対策によりフロアーの環境整備を行えた。個々のテーブルを準備しアクリル板を設置。リスク回避の為、通い人数を制限し訪問に切り替えてサービスの提供を行う事ができた。</li> <li>コロナウイルス感染症により暖かい家庭的な環境が減少してしまったように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス感染症対策により日々消毒を行いリスクの少ない環境を整えていることが分かる</li> <li>広報誌の写真等から環境づくりに努められていると感じる</li> <li>テーブル数やアクリル板を設置し感染予防対策を行っていることがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を行い安全に過ごせる環境を確保しつつ家庭的な雰囲気保てるよう努める</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への活動参加を継続し関係性を深める。</li> <li>家族さんや地域の方を事業所へ招き交流ができるよう実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス感染症対策により地域活動ができず、また招き入れる事も出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は計画していた行事等への参加は困難だったと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの広報誌を発行し活動報告や事業所の案内をしていく</li> <li>コロナ感染症状況により地域行事へ参加をする</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関係性や利用者様が在宅で過ごしやすい環境が築けるように地域のミニデイサービスへ参加を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症対策によりミニデイサービスへの参加が出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繋がりが強い地域性があり、コロナ禍でそのつながりが絶えた利用者にとって、事業所への通いが唯一の楽しみだったのかもしれませんが。アフターコロナに向け利用者が元気に地域へ戻れるよう事業所には頑張ってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や買い物支援、外出支援時に会う地域の方への声掛け（挨拶）を意識し行う</li> <li>・コロナ感染症状況により地域ミニデイサービスへ参加を計画していく</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議が報告だけの場所にならないよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症対策により文書会議となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の皆様からのご意見等があれば、次回の会議資料の中に盛り込み共有できると更に良いと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症状況により会議開催を検討行う</li> <li>・文書会議の内容を充実させ委員同士の共有も図っていけるよう努める（委員の皆様の意見を載せる）</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災について情報収集や外部研修へ参加していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症対策により外部研修がない状況であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の最中でも災害は起きる可能性があると思われる為、事業所内での避難ルートの確認や感染症対策を施した上での防災、災害対策を検討する機会を作ってみても良いと思う</li> <li>・行政とタッグを組んだ防災訓練が実現できると良いと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で利用者と共に防災、災害対策を考え必要物品を揃える</li> </ul>